

JIS

UDC 661.84

K 1410

酸 化 亜 鉛

Ⓜ JIS K 1410-1995

平成7年7月1日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業規格

JIS

酸化亜鉛

K 1410-1995

正誤票

ページ	位置	誤	正
16	下から2行目	本庄ケミカル株式会社	本荘ケミカル株式会社

備考1. この正誤票は、第1刷に対するものです。

2. この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部繊維化学規格課（☎100 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）へ連絡してください。

1995.8 日本規格協会 発行

主務大臣：通商産業大臣 制定：昭和25.6.13 改正：平成7.7.1

官報公示：平成7.7.3

原案作成協力者：日本無機薬品協会

審議部会：日本工業標準調査会 化学製品部会（部会長 小見山 二郎）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部繊維化学規格課（☎100 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。



酸化亜鉛

K 1410-1995

Zinc oxide

ZnO

FW : 81.39

1. 適用範囲 この規格は、工業用の酸化亜鉛について規定する。

備考 この規格の引用規格を、付表1に示す。

2. 種類 種類は、次のとおりとする。

- (1) 1種
- (2) 2種
- (3) 3種

3. 品質 品質は、5.によって試験したとき、表1のとおりとする。

表1 品質

項目	種類		
	1種	2種	3種
外観	白色	白色	—
純度 %	99.5 以上	99.5 以上	99.0 以上
鉛(Pb) %	0.005 以下	0.03 以下	0.3 以下
カドミウム(Cd) %	0.002 以下	0.01 以下	0.1 以下
乾燥減量 %	0.3 以下	0.3 以下	0.3 以下
ふるい残分 %	0.1 以下	0.1 以下	0.1 以下
水溶分 %	0.1 以下	0.1 以下	0.5 以下

4. 試料採取方法 JIS K 5101の4.(試料採取方法)の規定による。

5. 試験方法

5.1 一般事項 一般事項は、次のとおりとする。

- (1) 試験において共通する一般事項は、JIS K 0050による。
- (2) 数値の丸め方は、JIS Z 8401による。
- (3) 原子吸光分析法は、JIS K 0121による。
- (4) 試験に用いるガラス器具は、JIS R 3503による。

5.2 外観

5.2.1 要旨 試料の色を見本品と比較する。

5.2.2 見本品 見本品は、JIS K 5101の3.(見本品)の規定による白色のもの。

5.2.3 操作 操作は、次のとおりとする。